

第4回原子力災害時のスクリーニング作業の実際について（実践講習会）開催報告

横須賀三浦放射線技師会原子力災害特別派遣チーム

横須賀共済病院 大石 小太郎

平成21年1月24日（土）横須賀共済病院に於いて、横須賀三浦放射線技師会原子力災害特別派遣チーム（Nuclear Accident Screening Team 以下 NAS チーム）主催、神奈川県放射線管理士部会、神奈川県放射線技師会災害対策委員会共催という形で、スクリーニング実践講習会を開催しました。今回私自身、講習会の企画から運営に携わりましたのでその報告をいたします。

この講習会は、実際に想定される原子力災害時に我々診療放射線技師に求められる知識や技術を、放射線の専門家である我々自らの手で習得しようという目的で毎年開催しており、今年で第4回になります。今後ともこのような講習会を繰り返し開催していくことで、サーベイメータの使用方法や避難所における除染作業を実際的に習得する機会を広く提供していきたいと考えております。今回の講習会はサーベイメータ実習を中心に前半は自然放射線の講義、後半は実習という内容で構成しました。

以下にプログラムを示します。

プログラム

1.「JCO事故に学ぶ」

講師：宮村聖也（横須賀市立市民病院、NASチーム代表、県災害対策委員会）

2.「神奈川県放射線技師会における自然放射線測定事業」

講師：大内 幸敏（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、神奈川県放射線技師会理事、神奈川県放射線管理士部会）

3.「自然放射線について」

講師：近藤 明彦（横須賀共済病院、NASチーム）

4. 実践演習（サーベイメータの取扱、放射能の減弱実験）

講師：NASチーム

5. 実践演習（避難所を想定 サーベイメータでのスクリーニングの方法について実習）

講師：NASチーム

プログラム1は、JCOで何故臨界事故が発生したか？その原因をNHKで放映された番組を参考に事故までの経緯を説明、プログラム2は、神奈川県放射線技師会で行っている事業の一つである自然放射線測定の現状の紹介、プログラム3では放射線の基礎知識の復習として、自然放射線を主とした、講義を設けました。

後半の実践演習プログラム4では、サーベイメータの取扱方法、模擬線源を使用し測定しながら理解をしてもらう演習にしました。参加者の中にはサーベイメータを使ったことがない方も参加しているとのことで、サーベイメータの基礎的な取扱説明より行いました。

最後の実践演習プログラム5では、去年同様にスタッフが隠し持った模擬線源を3分以内にスクリーニングし探し放射線のカウントを測定する方式を採用しました。各受講者にはモデレータとして別のスタッフが付き、スクリーニングの方法を指導、加えて汚染部位発見の誘導を行うようにしました。3分間でスクリーニングを行うことの難しさを実感して頂けたと思います。

以上、講習会開催の概要を報告しましたが、総じて参加者からは好評を得ることができました。しかし、毎回同じような内容の講習会になりマンネリ化しているという声も聞こえてきました。また協力団体である神奈川県放射線管理士部会の講習会とも類似した講習会の内容になり、今後更なる工夫が必要と思われます。

我々放射線技師が必要な知識、技術を習得できる講習会をこれからも企画して多くの方に参加してもらいたいと思います。



プログラム4 測定実習



プログラム5 模擬スクリーニング